

地域の魅力を発信する地域商社

企画調査部

〔 要 旨 〕

地方銀行において、地方創生の実現に向けて、地域の事業者等と一体となって地域商社を設立等する動きが広がっています。

地方銀行が関与している地域商社の主な事業は、地元産品等の国内外への販路開拓、新商品開発・ブランディングの支援等です。この他、地元の生産者等の経営をサポートする様々な事業に取り組む地域商社もあります。

一般消費者向けに地元産品を販売するECモールの運営に取り組む地域商社も増加しています。近く銀行グループに対する規制が緩和される予定です。今後、地域商社に取り組む地方銀行は増えていくと考えられ、これからも地方銀行の地域商社に注目していただきたいと思えます。

1. 地方銀行と地方創生 ～地域商社への関わり～

現在、多くの地方銀行において、地方創生の実現に向け、地域の魅力ある産品等を大都市圏や海外に届ける取り組みを行っています。

そうした取り組みを進めるなかで、地元産材・産品を消費地に売り込む事業主体が不在であるという課題に直面するケースが少なからずあることが判明しました。一例をあげれば、地元の産品に対する小売業者等の評価は高いにもかかわらず、それを大都市圏等に安定的に届けるという物流機能が確立できず、地元事業者の収益に結びつかないといったケースです。また、素材は良くても、商品やデザインに関して、消費者の嗜好との微妙なズレを解消できず、百貨店等のバイヤーと契約にまで至らないことが多いといった課題も浮き彫りになりました。

これらの課題を解決するためには、開発・生産・流通・販売の一貫した売り込み戦略が必要との問題意識から、地方銀行が地元地域の事業者等と一体となって、地域商社を設立する動きが広がっています。

この動きは、政府が「地方創生」を掲げた2015年頃から始めていましたが、2017年の銀行法改正により、銀行グループのビジネス範囲が拡大した（認可制の下で地域商社を銀行の子会社とすることが可能となった）^(注) こと等を契機に本格化し、地方銀行が関与する地域商社は足元26行26社にまで拡大しています（図表1参照）。

【図表1】地方銀行が関与・設立した地域商社数の推移（累積）



出所：当協会調べ

地方銀行が関与している地域商社は、地元地域の

事業者や農業者と共同で設立したものが多くありますが、銀行グループのビジネス範囲が拡大した2017年からは、地方銀行が100%出資する地域商社も設立されるようになりました。

後述するとおり、2021年の通常国会に、銀行グループのビジネス範囲に係る規制緩和を盛り込んだ銀行法改正案が提出されており、地方銀行による地域商社設立等の動きは、今後、さらに広がっていくと考えられます。

2. 地域の魅力を発掘し、全国・世界に届ける

地方銀行が関与する地域商社の主な事業は、地元産品のプロモーション・販路開拓に加え、新商品の開発・ブランディング等です。

・地域の魅力ある商材を「再発見」

各地域には、全国に知られていない魅力ある商材が眠っています。地域商社は、そうした素晴らしい地域産品の発掘はもちろんのこと、地域の事業者と連携して、新たな商品の開発に取り組んでいます。また、地域ならではのこだわりや魅力を“見える化”して、大都市圏の事業者・消費者に訴求し、その知名度の向上に取り組んでいる会社もあります。

例えば、大分銀行が地元事業者と設立した「Oita Made」は、アルミニウムに天然の藍色を彩色する技術を開発した地元事業者とともに、文具



JAPAN BLUE万年筆

メーカーの協力を得ながら、「JAPAN BLUE万年筆」を開発し、販売しています。本商品は、口コミで評判が広がり、現在、需要に生産が追いつかない状態です。第二弾の「JAPAN BLUEボールペン」も同様に好評を博しています。

また、山口銀行が関与する「地域商社やまぐち」は、山口を感じる逸品を“やまぐち三ツ星セレクション”というブランドとして、首都圏の百貨店等

に向けてプロモーション活動を展開しています。同社が、山口県の特産品である日本酒を100年に亘って造り続ける老舗蔵元と共同開発した「純米吟醸酒 東洋の女神」



純米吟醸酒 東洋の女神

は、三ツ星セレクションのヒット商品の一つです。

・地銀グループのネットワークを活かし、産地と消費地をつなぐ

地方銀行が関わる地域商社ならではの活動として、地方銀行グループが有する営業拠点や取引先等のネットワークを活かし、地元以外の百貨店や飲食店等といった新たな販路の開拓があります。

例えば、阿波銀行、百十四銀行、伊予銀行、四国銀行で共同出資して設立した「Shikokuブランド」は、4行の持つ幅広いネットワークを活用して、全国各地で四国フェアを開催する等、四国島内の魅力ある産品を発信しています。

国内の大都市圏を対象に事業展開している地域商

(注) 銀行法が改正され、2017年4月より、銀行は、金融庁からの認可取得を条件として、情報通信技術等を活用して銀行業の高度化または利用者利便の向上に資する業務を営む会社(銀行業高度化等会社)に100%まで出資することが可能となりました。この銀行業高度化等会社として、いわゆるフィンテック会社や地域商社等も子会社化できるようになりました。

【図表2】地方銀行の地域商社が運営するECモール（例）

| 地域商社 (地方銀行) | ECモール | |
|-------------------------------|-------------------|--|
| 北國マネジメント (北國銀行) | COREZO™ | <ul style="list-style-type: none"> ・これぞ北陸のいいモノ・いいコト発掘サイト。 ・食品やお酒等の購入のほか、老舗料亭での特別体験の予約も可能。 |
| 地域商社やまぐち (山口銀行) | Jimotto (じもっと) | <ul style="list-style-type: none"> ・地元のいいものセレクトショップ。 ・“やまぐち三ツ星セレクション”をはじめとした商品を購入可能。 |
| 阿波銀コネクト (阿波銀行) | Lacycle mall | <ul style="list-style-type: none"> ・「Lacycle(ラシクル)」は、私“らしく”と、循環を意味する“サイクル”を掛け合わせた造語。SDGsをコンセプトとしたモール。 ・減農薬・有機肥料で生産した徳島産阿波市北方地域のお米等を購入可能。 |
| iBankマーケティング (福岡銀行、十八親和銀行) | エンニチ | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の良いモノに出会える、まるで“縁日”のようにワクワクするオンラインストア。 ・波佐見焼の窯元・ショップが27社揃うオンライン陶器市で話題。 |
| マキコミ (筑邦銀行) | 九州感動本舗 | <ul style="list-style-type: none"> ・筑後、豊後、肥後等のエリア別の特産品(筑後の豊富なフルーツを加工した商品等)を購入可能。 ・期間限定でリアルショップを出店(例えば、4月26日～5月9日に博多マルイで阿蘇のバラをテーマに出店)。 |
| くまもとDMC (肥後銀行) | KUMAMOTO24 | <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある地元産品を全国の皆様にお届けするネットショップ。 ・地域の食品、お酒等のほか、くまモングッズも購入可能。 ・熊本の県北、県央、県南のエリア情報も発信。 |
| Oita Made (大分銀行) | Oita Made | <ul style="list-style-type: none"> ・大分のいいもの、美味しいものが購入可能。 ・「Oita Made Shop赤レンガ本店」(大分市を代表する歴史的建造物の赤レンガ館内)にリアル店舗もある。 |

出所：当協会調べ

社が多い一方、海外の販路開拓支援に取り組む地域商社もあります。

例えば、北海道銀行が関与する「北海道総合商社」は、道内事業者に対してロシア、中国、香港、台湾、ベトナム等への進出等を支援しています。特にロシアについては、現地に子会社拠点を設け、現地ニーズに合った支援を行っています。一例として、北海道北見産の玉ねぎのロシア輸出に際して、

現地法人の調査によってロシア人は小さいサイズを好むとの情報を得て、小ぶりの玉ねぎの輸出を開



始したところ、これが大ヒットし、輸出量は年間250トン(2020年度)にまで増加しています。

また、ECモールの運営などにより、一般消費者向けに地元産品の販売に取り組む地域商社もあります(図表2参照)。こうしたECモールには、地域ならではの技術や素材を活かした商品が多数ありますので、家族や友人にも紹介したくなるような新たな発見があるかもしれません。

・地元生産者等をサポートする様々な事業を展開

いわゆる「商社」の機能のほかに、地元生産者等の経営をサポートする様々な事業に取り組む会社もあります。

例えば、みちのく銀行がIT分野に強みを持つオプティムアグリ・みちのくは、AIやIoT、ドローン等の技術（いわゆる“スマート農業”技術）を活用した農作業負担の軽減・効率化によってコストダウンを実現するとともに、減農薬により農作物の付加価値を高めるソリューションを提供しています。農業事業者とともに生産、販売している「スマート米」は、農薬使用量を極力抑えた安心・安全なお米です。

また、親和銀行（現・十八親和銀行）が、地元の自治体等と共同出資して設立した「西海クリエイティブカンパニー」は、スマートシティ事業としてプログラミング講座の提供による人材育成や、まちづくり構想等を支えるAIアプリケーション開発等に取り組んでいます。

3. 今後の可能性

前述のとおり、今通常国会に提出されている銀行法改正案では、銀行が子会社として地域商社を保有する際の認可基準の緩和等が盛り込まれています。これが実現すれば、地域商社ビジネスに関わりやすくなるため、今後、地域商社に取り組む地方銀行は増えていくと考えられます。

“地域とともに”を旨とする地方銀行やその地域商社では、一層の地域活性化に結び付けていくために、より踏み込んだビジネスを展開していくことでしょう。これからも地方銀行の地域商社に注目していただきたいと思います。

【詳しくは、地方銀行が関与する地域商社の紹介サイトを参照ください（https://www.chiginkyo.or.jp/app/story.php?story_id=1778）】

地域商社一覧

| 地方銀行 | 地域商社 | 地方銀行 | 地域商社 |
|----------------|---------------|--------|----------------|
| 北海道銀行 | 北海道総合商事 | 広島銀行 | たびまちゲート広島 |
| | HAL GREEN | 山口銀行 | 地域商社やまぐち |
| | OMEGAファーマーズ | 阿波銀行 | 阿波銀コネクト |
| みちのく銀行 | オプティムアグリ・みちのく | 阿波銀行 | Shikokuブランド |
| 岩手銀行 | manordaいわて | 百十四銀行 | |
| 秋田銀行 | 詩の国秋田 | 伊予銀行 | |
| | | 四国銀行 | |
| 山形銀行 | TRYパートナーズ | 福岡銀行 | iBankマーケティング |
| 千葉銀行 | ちばぎん商店 | 十八親和銀行 | |
| 第四北越銀行 | ブリッジにいがた | 十八親和銀行 | 西海クリエイティブカンパニー |
| 北國銀行 | 北國マネジメント | | ミナサポ |
| 静岡銀行 | ふじのくに物産 | 筑邦銀行 | マキコミ |
| 紀陽銀行 | ロカリスト | 肥後銀行 | くまもとDMC |
| 山陰合同銀行 鳥取銀行 | 地域商社とっとり | 大分銀行 | Oita Made |
| | | 宮崎銀行 | Withみやざき |
| 中国銀行 | せとのわ | 鹿児島銀行 | 春一番 |